

令和 6 年度

津別町教育委員会
点検・評価報告書

令和 7 年 8 月

津 別 町 教 育 委 員 会

教育委員会の主な事務の管理・執行状況の点検・評価並びに 町議会への報告と町民への公表について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）の一部改正により、平成20年4月より、全ての教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表しなければならないとされました。

点検及び評価を行うに当たっては、「教育に関する学識経験者を有する方の知見の活用を図る」ものとされ、点検・評価の具体的な項目や指標については、国で項目等は定めず、各教育委員会が実情を踏まえて決定し、議会や地域住民の指摘を受けて改善していくこととなります。

津別町教育委員会は、地教行法に基づき効果的な教育行政の推進を図るとともに、町民の皆さまへの説明責任を果たすため、教育目標に基づく主な施策・事業について点検評価を行い報告書としてまとめましたので、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和7年8月

津別町教育委員会

目 次

教育委員会

1 教育委員会	1
(1) 教育長・教育委員名	
(2) 委員会開催状況	
(3) 条例・規則等の制定状況	5
(4) 委員の活動状況	7

学校教育

2 令和6年度予算の状況	8
(1) 学校教育関係費	
3 学校教育の推進	
(1) 小・中学校教育の推進	
① 学習補助員の配置	
② 就学援助費	9
③ 特別支援教育就学奨励補助事業	
④ 教材・備品購入経費事業	10
⑤ 語学指導助手事業	
⑥ 木育授業	
⑦ 学校保健事業	11
(2) 高等学校教育の推進	
① 津別高等学校振興対策事業	
② 津別高等学校地域別入学者状況	12
③ 奨学金貸与状況	
(3) 学校給食の推進	13
① 学校給食センター運営委員会	
② 学校給食センター事業	
③ オール津別食材による給食提供	

社会教育

4 令和6年度予算の状況	14
(1) 社会教育関係費	
5 社会教育の推進	
(1) 社会教育・体育事業	
① 社会教育委員研修事業	
② 家庭教育事業	15
③ 少年期事業	
④ 青年期事業	16
⑤ 成年期事業	17
⑥ スポーツ推進委員研修事業	18

⑦ 各種大会事業 -----	1 9
⑧ スポーツ教室・講習会事業	
6 図書館事業の推進 -----	2 2
（１）図書館事業	
① 図書館事業	
7 芸術文化の推進 -----	2 4
（１）芸術文化事業	
① 芸術文化事業	
8 児童館の推進 -----	2 5
（１）児童館運営	
① 児童一般利用状況	
9 放課後児童健全育成事業	
（１）放課後児童クラブの状況	
① 放課後児童クラブ登録状況	
② 放課後児童クラブ利用状況	
③ 放課後子ども教室登録状況	
1 0 社会教育施設管理の推進 -----	2 6
（１）社会教育施設管理事業	
① 社会教育施設営繕関係	
② 社会教育施設管理委託関係	
（２）体育施設管理事業	
① 体育施設営繕関係 -----	2 7
② 体育施設管理委託関係	
③ 体育施設管理備品関係 -----	2 8
1 1 スポーツ合宿実績 -----	2 9
学識経験者意見 -----	3 0

教育委員会

1 教育委員会

(1) 教育長・教育委員名

職 名	氏 名	選 任 年 月 日	住 所	備 考
教育長	近 野 幸 彦	令和 4 年 4 月 1 日	達美 2 2 1 - 7	
代表委員 (職務代理者)	松 平 範 慶	平成 1 7 年 1 0 月 1 日	緑町 8	
委 員	松 田 真 理	平成 2 0 年 9 月 2 1 日	豊永 6 4 - 4 5	
委 員	金 田 美喜恵	平成 2 6 年 1 2 月 2 4 日	活汲 1 3 6	
委 員	鈴 木 健 二	令和 2 年 1 0 月 1 日	木樋 5 9 - 3	

(2) 委員会開催状況

期 日	出 席 委員数	付 議 案 件 等
R6. 4. 24	4	報 告・教育長の報告 ・ 寄附・寄贈品の報告 ・ 令和 5 年度津別町社会教育実績報告について 議 案・津別町奨学審査委員会委員の委嘱について ・ 津別町教育支援委員会委員の委嘱について ・ 津別町学校運営協議会委員の委嘱について ・ 令和 6 年度津別町要保護・準要保護児童生徒の認定及び就学援助費の扶助に関する世帯の認定について ・ 津別町スポーツ推進委員の委嘱について ・ 津別町温水プール利用者バス料金補助要綱の一部を改正する要綱について

期 日	出 席 委員数	付 議 案 件 等
R6.5.30	4	報 告・教育長の報告 ・学校施設のボランティア（地域貢献活動）について 諮 問・第8次津別町社会教育中期計画に係る諮問について 議 案・令和6年度津別町の奨学生の認定について ・令和6年度津別町要保護・準要保護児童生徒の認定及び就学援助費の扶助に関する世帯の認定について ・津別町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について 協 議・津別町アクション・プラン（第3期）について その他・令和6年度津別町社会教育事業計画について ・令和6年度津別町図書館計画について ・熱中症アラートへの対応について ・ナチュラル・ビズ・スタイルの実施について
R6.6.28	4	報 告・教育長の報告 ・寄贈品の報告 ・学校施設のボランティア（地域貢献活動）について ・令和6年度津別町特別支援教育就学奨励費補助について ・学校給食センター建設工事について ・学校給食配送用車購入について ・給食費の滞納繰越について その他・公設民営塾の状況について
R6.7.22	4	報 告・教育長の報告 ・令和6年度スポーツ合宿の受入状況について 諮 問・心身に障がいをもつ児童生徒の教育支援に係る諮問について 議 案・津別町立学校職員の在宅勤務実施要綱の制定について その他・令和6年度津別町の教育について
R6.8.27	4	報 告・教育長の報告 ・令和6年度全国学力・学習状況調査の結果公表について ・南アルプス市・船橋市交流事業の実施結果について ・学校給食センター外装カラーについて 諮 問・津別町文化賞・スポーツ賞顕彰者の諮問について

期 日	出 席 委員数	付 議 案 件 等
R6. 8. 27	4	議 案・令和 6 年度心身に障がいをもつ児童生徒の就学について（通級在籍決定） ・令和 7 年度使用小学校教科書用図書の採択について ・令和 7 年度使用中学校教科用図書の採択について ・令和 7 年度使用小・中学校特別支援学級教科用図書（一般図書）の採択について ・令和 5 年度津別町教育委員会の点検・評価報告について その他・図書館の蔵書点検による休館について ・公設民営塾について
R6. 9. 24	4	報 告・教育長の報告 ・寄贈品の報告について ・令和 5 年度津別町教育委員会点検・評価報告について ・つべつ紅葉マラソン大会の参加状況について 議 案・津別町社会教育委員の解嘱について 協 議・津別町教育委員会顕彰について その他・9 月定例議会の補正について
R6. 10. 21	4	報 告・教育長の報告 ・寄贈品の報告について ・北海道北見支援学校へのスクールバスの運行について ・つべつ紅葉マラソン大会の実施結果について 諮 問・心身に障がいをもつ児童生徒の教育支援に係る諮問について 協 議・総合教育会議の開催について その他・令和 7 年度主要事業について ・オールつべつ給食について
R6. 11. 21	4	報 告・教育長の報告 ・寄贈品の報告について ・少年補導委員の廃止について 協 議・津別町総合教育会議について その他・1 2 月定例議会の補正について ・公設民営塾中学生冬期体験会について

期 日	出 席 委員数	付 議 案 件 等
R6. 12. 12	4	報 告・教育長の報告 ・寄贈品の報告について ・図書館まっりの開催結果について ・津別中学校・台湾二水郷国民中学校交流事業について 議 案・津別町私立幼稚園奨励費補助金交付要綱を廃止する要綱について ・津別町大学生等応援事業実施要綱を廃止する要綱について ・津別町放課後児童健全育成事業実施要綱の一部を改正する要綱について 協 議・教育委員会顕彰について ・総合教育会議の進め方について
R7. 1. 30	4	報 告・教育長の報告 ・寄贈品の報告について ・奨学金の前納償還について ・津別中学校・台湾二水郷国民中学交流事業実施結果について ・文部科学大臣表彰 津別町生活体験「通学合宿」受賞について 議 案・令和 7 年度心身に障がいをもつ児童生徒の就学について ・令和 6 年度津別町奨学生の手退による廃止について 協 議・令和 7 年度教育行政方針（素案）について その他・教育相談員業務の現地視察（津別小学校）について
R7. 2. 27	4	報 告・教育長の報告 ・寄附・寄贈について ・津別町給食センター建設現場での労働災害発生について 諮 問・心身に障がいをもつ児童生徒の教育支援に係る諮問について 議 案・学校職員の処分内申について ・令和 7 年度教育行政方針の決定について ・令和 6 年度津別町要保護・準要保護児童生徒の認定及び就学援助費の扶助に関する認定について 協 議・着任式の日程について ・津別町学校給食センター条例の一部を改正する条例について ・津別町体育施設の設置及び管理に関する条例等の一部改正について その他・3 月定例議会補正予算

期 日	出 席 委員数	付 議 案 件 等
R7. 3. 28	4	報 告・教育長の報告 ・教職員（管理職・一般）の人事異動について ・寄附・寄贈品の報告について ・令和7年度以降の津別中学校の部活動について ・学校給食に対するアンケート結果について 議 案・津別町立学校薬剤師の解嘱について ・津別町立学校薬剤師の委嘱について ・令和6年度津別町要保護・準要保護児童生徒の認定及び就学援助費の扶助について ・令和7年度心身に障がいをもつ児童生徒の就学について ・津別町少年補導委員設置規則を廃止する規則について ・津別町体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する規則について ・第8次津別町社会教育中期計画について ・津別町学校給食センター条例施行規則の一部を改正する規則について ・津別町給食に関する業務処理要綱の一部を改正する要領について その他・令和7年度予算について ・令和7年度津別高校の入学予定について ・社会体育施設の開設予定について
開催概要		・津別町教育委員会会議は公開としており、原則として毎月1回開催している。内容としては、「地方教育行政の組織運営に関する法律」及び「教育委員会事務委任規則」、「津別町教育委員会会議規則」に基づき審議を行った。

（３）条例・規則等の制定状況

番 号		題 名	公布月日	施行月日
規 則	第 1 号	・ 津別町教職員住宅管理規則の一部を改正する規則	R6. 2. 20	R6. 4. 1
	第 2 号	・ 津別町立学校管理規則の一部を改正する規則	R6. 2. 20	R6. 2. 20

番 号		題 名	公布月日	施行月日
訓 令	第 1 号	・ 津別町立学校職員の在宅勤務実施要綱	R6. 7. 22	R6. 7. 22
	第 2 号	・ 津別町放課後児童健全育成事業実施要綱の一部を改正する要綱の訓令について	R6. 12. 12	R6. 12. 12
番 号		題 名	公布月日	施行月日
告 示	第 1 号	・ 第 1 回 津別町教育委員会議の招集について	R6. 1. 11	R6. 1. 23
	第 2 号	・ 第 2 回 津別町教育委員会議の招集について	R6. 2. 8	R6. 2. 20
	第 3 号	・ 津別高校通学費補助要綱の全部を改正する要綱の告示について	R6. 2. 20	R6. 4. 1
	第 4 号	・ 第 3 回 津別町教育委員会議の招集について	R6. 3. 12	R6. 3. 25
	第 5 号	・ 第 4 回 津別町教育委員会議の招集について	R6. 4. 12	R6. 4. 24
	第 6 号	・ 津別町温水プール利用者バス料金補助要綱の一部を改正する要綱の告示について	R6. 4. 24	R6. 4. 24
	第 7 号	・ 第 5 回 津別町教育委員会議の招集について	R6. 5. 17	R6. 5. 30
	第 8 号	・ 第 6 回 津別町教育委員会議の招集について	R6. 6. 12	R6. 6. 28
	第 9 号	・ 第 7 回 津別町教育委員会議の招集について	R6. 7. 4	R6. 7. 22
	第 1 0 号	・ 第 8 回 津別町教育委員会議の招集について	R6. 8. 16	R6. 8. 27
	第 1 1 号	・ 第 9 回 津別町教育委員会議の招集について	R6. 9. 11	R6. 9. 24
	第 1 2 号	・ 第 10 回 津別町教育委員会議の招集について	R6. 10. 11	R6. 10. 21
	第 1 3 号	・ 第 11 回 津別町教育委員会議の招集について	R6. 11. 11	R6. 11. 21
	第 1 4 号	・ 第 12 回 津別町教育委員会議の招集について	R6. 12. 4	R6. 12. 12
	第 1 5 号	・ 津別町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱を廃止する要綱の告示について	R6. 12. 12	R6. 12. 12
	第 1 6 号	・ 津別町大学生等応援事業実施要綱を廃止する要綱の告示について	R6. 12. 12	R6. 12. 12

(4) 委員の活動状況

教育委員会議以外の活動状況（教育長を除く）

日 付	活 動 内 容	委 員 名
R6. 4. 4	教職員着任式	松平職務代理 松田委員 金田委員 鈴木委員
R6. 7. 18	北海道市町村教育委員研修会	松平職務代理 金田委員
R6. 12. 4	オホーツク管内市町村教育委員大会	松平職務代理 金田委員 鈴木委員
R6. 12. 12	総合教育会議	松平職務代理 松田委員 金田委員 鈴木委員
R7. 1. 12	成人式	松平職務代理 松田委員
R7. 2. 4	北見ブロック教育委員研修会	松平職務代理 松田委員 鈴木委員

学校教育

2 令和6年度予算の状況

(1) 学校教育関係費

(単位：千円)

項 目	令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	増減 (A-B)	構成比 (%)
教育総務費	98,049	92,383	5,666	14.4
教育委員会費	2,107	2,071	36	
事務局費	49,022	43,314	5,708	
義務教育振興費	11,291	10,388	903	
スクールバス 運行費	35,629	36,610	△981	
小学校費	49,981	55,050	△5,069	7.3
学校管理費	31,319	33,393	△2,074	
教育振興費	18,662	21,657	△2,995	
中学校費	43,191	81,022	△37,831	6.4
学校管理費	24,261	59,856	△35,595	
教育振興費	18,930	21,166	△2,236	
保健体育費	489,881	64,005	425,876	71.9
学校保健費	5,699	4,460	1,239	
学校給食費	484,182	59,545	424,637	
合 計	681,102	292,460	388,642	100.0

3 学校教育の推進

(1) 小・中学校教育の推進

① 学習補助員の配置（継続事業）

19,384千円

事業目的	・ 支援を必要とする児童生徒の個々に応じた支援体制を整備し、基礎・基本の学習定着を図る。
事業概要	・ 学習補助員及び臨時教職員を配置 □ 津別小学校（学習補助員のみ） - H29：5名、H30：6名、R1：7名、R2：9名、R3：8名、R4～6：7名 □ 津別中学校（学習補助員及び臨時教職員） - H29～R2：学補1名、R3：学補2名、R4：学補1名・臨教1名、R5～6：学補3名・臨教1名
成果と課題	・ 学習補助員の指導補助により、できるだけ個々に応じた細かな指導を行っているが、個々の特性が多岐にわたるため、教員等の負担は変わらず多い。 ・ 学習補助員の人員確保が難しい状況も課題である。

② 就学援助費（継続事業）

3, 154千円

事業目的	・経済的理由により就学が困難となる児童生徒の保護者に支援を行い、義務教育の機会均等を図る。					
事業概要	区分	援助品目	小学校		中学校	
	学用品費	文房具等	20人	214,185	11人	231,088
	通学用品費	靴・傘等	20人	41,805	7人	13,998
	新入学用品費	今年度入学者 事前未給付分 (靴・制服等)	新小10人	—	—	—
		次年度入学者分 (靴・制服等)	新小13人	171,180	—	—
			新中17人	441,000		
	校外活動費	交通費や見学科	1人	1,600	8人	11,350
	修学旅行費	旅行経費	5人	129,120	2人	112,958
	体育実技用具	体育実技用具等	5人	132,500	4人	152,120
	給食費	給食代	20人	706,400	11人	378,800
	クラブ活動費	部活動費	—	—	9人	200,960
	生徒会費	生徒会費	—	—	11人	8,134
	P T A 会費	P T A 会費	14世帯	37,250	11世帯	39,650
	卒業アルバム代等	卒業アルバム代	7人	92,400	2人	37,000
	合計			1,967,440		1,186,058
成果と課題	・随時申請受け付け、認定審査を行い、援助支援を行った。 ・生活状況の把握を町役場保健福祉課等の関係機関と連携しながら適切な認定に努めた。					

③ 特別支援教育就学奨励補助事業（継続事業）

1, 647千円

事業目的	・町立小・中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に支援を行い、児童生徒の教育の機会均等を保障し、義務教育の円滑な実施に資する。
事業概要	・就学奨励補助として、学用品費、通学費、修学旅行費、体育実技用具費、新入学児童生徒学用品費、学校給食費を、毎年度国が定める国庫補助単価額と、学校及び教育委員会が徴収する額の1/2を保護者へ補助する。小学校費718千円、中学校費929千円
成果と課題	・特別支援学級の児童生徒の教育の機会均等が保障されるとともに、保護者の経済的負担軽減が図られた。

④教材・備品購入経費事業

2, 5 1 2 千円

事業目的	・小中学校の教材・備品等の整備充実を図る。	
事業概要	・津別小学校	区 分
		金額（千円）
		指定教材消耗品
		I C T機器修繕料
		理科教材備品
	・津別中学校	区 分
		金額（千円）
		指定教材消耗品
		I C T機器修繕料
		指定教材備品
成果と課題	・各教科の教材を整備し、学習環境の整備・充実が図られた。	

⑤語学指導助手事業（継続事業）

2, 8 5 0 千円

事業の目的	・自治体国際化協会（CLAIR）を通して英語指導助手1名を招致し、児童生徒の英語能力向上、英会話を通してコミュニケーション能力や国際理解教育の推進を図る。
事業概要	・講師：デー・アレックス・マイケル（アメリカ）R3.10～R6.9 ・内容：小中学校、高校での英語科授業及び国際理解教育等の支援
成果と課題	・年度当初に各学校等と打ち合わせを行い、各学校等に派遣を実施。平成28年度から認定こども園での活動も加え、今後も小・中・高校と連携を図りながら効果的な学習活動の補助が必要である。 ・今年度は、年度途中で英語指導助手が退任し、新たな助手の任用ができず、児童生徒の国際理解教育を進められず、各学校等の教職員等の負担も増えてしまった。継続任用の仕組みを確立していく。

⑥木育授業（継続事業）

9 1 0 千円

事業目的	・町の特色ある学校づくりとして、木育授業を行い、林業、林産業に理解を深めながら、ふるさとに誇りを持ち心豊かな将来を担う人材を育成する。
事業概要	・津別小学校 講師：木育マイスター 萩原寛暢氏 3年生、5年生の各学年2時間×3回の授業。町有林に行き「天然林と人工林」の違いを観察、町内にある10種の木で作成した「木のタマゴ」を焼きペンで加工、自分だけの木のタマゴを作成する授業等を行う。 ・津別中学校 講師：（有）木 代表取締役 中井秀樹氏 1年生に2時間×3回の授業実施。「動く木のおもちゃづくり」をテーマに木工芸の考え方や作り方、動く仕組みの学習及び高度で安全な道具・工具の使い方の実技指導を行う。
成果と課題	・児童生徒の木への親しみや木の文化への理解を深め、人と木や森の関わりを自ら考えられる豊かな心を育み、環境への意識も高めた。

⑦学校保健事業（継続事業）

2, 204千円

検査項目		対象児童生徒	検査項目	対象児童生徒
内科検診 結核検診		全児童生徒	心臓検診(心電図)	小１・中１年生
歯科検診		全児童生徒	尿検査	全児童生徒
耳鼻科検診		小３・中１年生		
眼科検診(視力検査)		小１～小３年生	その他の学年：気になる児童生徒	
成果と課題	・児童生徒の疾病予防措置ができ、早期の治療を促すことができる。 ・児童生徒の発育や健康状態を把握し、日常生活を含めた保健指導や相談業務の対応を図られた。			

（２）高等学校教育の推進

①津別高等学校振興対策事業

37, 591千円

事業目的	・北海道津別高等学校振興対策事業		
事業概要	・平成8年より、地元唯一の高校の存続と特色ある教育活動のため、津別町振興対策協議会に対し支援を継続している。 ・バス通学費、校納金、教科書費、制服費等の補助、国公立大学入学一時金の助成も実施し、公設民営塾による津別高校生、町内高校生への教育支援を行っている。 ・令和6年度支援事業は、下記のとおり		
	区 分	金額(千円)	備 考
	国公立大学入学一時金	0	H28～実施 R6：0名
	公設民営塾	21, 151	R1.9～通年化
	海外研修	3, 972	参加者4名
	就学支援	8, 968	バス通学費、校納金、制服、教科書等の補助
	振興対策協議会	3, 500	生徒支援費、学校活動支援費広報活動費
	合 計	37, 591	
成果と課題	・町内中卒者数の減少等からH23年度より一間口となり、H24年度から地域キャンパス校となったが、継続的な振興対策の取り組みが近隣の中学校や保護者にも認知されている。 ・今後も生徒の確保は厳しい状況が続くが、存続及び入学者の確保に向けて振興対策協議会への支援並びに町の支援を継続していく。		

②津別高等学校地域別入学者状況

年度	町内中卒者数	津別町 (A)	北見市	美幌町	他市町	入学者 (B)	入学者 地元率 (A/B)
2	34	16	5	2	0	23	69.5%
3	14	3	6	2	0	11	27.3%
4	28	11	5	6	0	22	50.0%
5	19	9	11	2	0	22	40.9%
6	31	9	9	4	0	22	40.9%

③奨学金貸与状況

事業目的	・教育機会の均等と教育振興を図るため				
事業概要	・教育機会の均等と教育振興を図るため奨学金を貸与する。 ・令和6年度は、新規2名、継続10名の合計12名に貸与を決定。 ・専修学校、高等専門学校(4～5年)、大学以上の学生に月額2万5千円 ・高等学校、高等専門学校(1～3年)の学生に月額1万円 ・返還期間は学校卒業翌年から10年以内に返還しなければならない。				
	貸与件数	貸与金額	貸与内訳	償還件数	償還金額
	12件	3,400千円	大学生：11名 高校生：1名	21件	3,416千円
成果と課題	・貸付件数は例年同等で推移していることから、大学等の進学に際して活用され、有効な教育支援となっている。 ・近年の物価高騰に見合った貸与金額の上限額設定となっているか ・経済・社会情勢・基金状況等を踏まえ、精査する必要がある。				

(3) 学校給食の推進

① 学校給食センター運営委員会

20千円

期 日	出席委員数	付 議 案 件 等
R6.6.27	5	議案：令和5年度学校給食実績について 他2件 報告：給食費の銀行口座振替状況について 他3件
R7.3.28	5	津別町学校給食センター建設工事途中経過状況の内覧
委員会概要	・本委員会は、給食センターの適正かつ円滑な運営を図るため、学校給食の基本的な事項および給食センターの運営等の協議を行う。	

② 学校給食センター事業

489,838千円

事業目的	・安全で安心な学校給食の提供により、児童生徒の身体に必要な栄養を摂取し、あわせて日常生活における正しい食事等を身に付けさせるため学校給食を実施する。
事業概要	- 給食費：小学校240円、中学校276円（平成21年度改定） 小学校児童、中学校生徒は200円（令和5年度開始） 第3子以降の児童・生徒は免除（令和5年度開始） 高校237円（平成26年度開始） - 令和6年度給食提供数：362名（児童生徒291名・教職員等71名） - 給食主食の種類別週回数：米飯（3回）、麺類（1回）、パン（1回） - オーガニック牛乳の供給：平成21年度より週1回提供
成果と課題	・令和5年度に実施した津別町学校給食センター基本・実施設計業務に基づく津別町学校給食センター建設工事に着手した。

③ オール津別食材による給食提供（上記②の内数）

300千円

事業目的	・全て地場産物の食材を使用することにより、子供たちが津別の食材及び学校給食に興味を持ち、郷土を愛する心の育成に寄与する。
事業概要	- 各主食（米、麺、パン）1回の計3回でオール津別産食材給食を提供 11月20日 スライスパン、かぼちゃのシチュー、 ヤーコンのコールスローサラダ、オーガニック牛乳 11月21日 つべつ牛丼、豆腐とじゃがいもの味噌汁、オーガニック牛乳 11月22日 肉野菜うどん、春巻き、いももちのみたらし風、 オーガニック牛乳
成果と課題	・給食センター発行の「食育だより」によりオール津別食材によるメニューを紹介し地産地消への理解や生産者に対する感謝の気持ちを学ぶ良い機会となった。今後も引き続き、地元の旬を迎えた食材用いて食育の推進を図る。

社会教育

4 令和6年度予算の状況

(1) 社会教育関係費

(単位：千円)

項 目	令和6年度	令和5年度	増 減	構成比(%)
社会教育費	72,908	118,157	△45,249	21.7
社教総務費	3,272	3,066	206	
社教振興費	15,652	18,722	△3,070	
会館管理費	53,984	96,369	△42,385	
保健体育費	263,545	146,538	117,007	78.3
保体総務費	8,865	8,652	213	
体育施設費	254,680	137,886	116,794	
合 計	336,453	264,695	71,758	100.0

5 社会教育の推進

(1) 社会教育・体育事業

① 社会教育委員研修事業

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
北見・斜網地区 社会教育委員研修会兼 オホーツク管内 社会教育振興セミナー	R6.11.1～ 2	北見・斜網地区 社会教育委員 連絡協議会 管内社会教育 委員連絡協議 会	・研修テーマ「地域コミュニティとこれからの社会教育～これからの社会教育委員に求められるもの～」 ・特別講演「89歳しあわせデジタル生活」 ・パネルディスカッション ・分科会
成果と課題	・地域社会の一因として地域づくりに参加できる社会を目指すため、これからの社会教育をどう考えるか、研修では市町村委員間の意見や情報交換ができた。		

②家庭教育事業

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
家庭教育学級「ちびっこクラブ」	R6.4～R7.3 (14回)	教育委員会	・就園前の子育て中の親が集い、子育て勉強会や交流など自主企画をして運営する学級 ・クラブ会員12組
成果と課題	・少子化により会員数が少なくなり、活動を縮小させながら続けている状況ではあるが、子育て中の親同士の仲間づくりや直面している課題に対して学習会を開いたり、交流を深めたりと重要な役割を担っていた。 ・団体を維持継続するための会員の減少により令和6年度もって解散。		

③少年期事業

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
放課後児童クラブ	通年	教育委員会	・昼間留守家庭等の児童の放課後や土曜日などの遊びや生活の場 ・69名登録
放課後子ども教室 (子どもの居場所確保)	通年	教育委員会	・放課後や土曜日などに子どもの居場所を設け、学習、体験、交流等をする事業 ・34名登録
放課後子ども教室 (アソビバ! つべつ)	通年	教育委員会 役場林政係 JAつべつ 北海道オール・オリリンピアンズ	・土日や長期休日を活用して自然、文化、スポーツ、農業などの体験を中心とした事業 ・全20回、58名登録 延べ404名参加
船橋市青少年交流事業（訪問）	R6.8.3～7 (3泊4日)	船橋市青少年交流実行委員会	・同年代の子どもたちの交流等を通して親睦を深め、異文化体験や郷土愛の育成を図る事業 ・津別町参加者：小学生17名、中学生2名、高校生ボランティア2名、引率者3名 計24名 ・歓迎式、交歓会、ホームステイ ・アンデルセン公園、三番瀬環境学習館、ディズニーランド ・交流プログラム ・一宮少年自然の家宿泊

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
南アルプス市青少年交流事業(訪問)	R6.8.1～3 (2泊3日)	南アルプス市 青少年交流実 行委員会	・同年代の子どもたちとの交流会等を通して友好姉妹都市との親善を深める事業 ・津別町参加者：小学生17名、中学生2名、高校生ボランティア3名、引率者3名 計24名 ・表敬訪問、歓迎会 ・夜叉神峠、もも狩り体験 ・離市式、ハッピーパーク、瓦会館 ・樹園宿泊
成果と課題	・安心・安全な放課後や休日の子どもの居場所、生活の場を設けることができた。親の就労率が高く、登録児童は増加傾向であり、安全確保のための指導員不足大きな課題である。 ・宿泊体験事業、交流事業も再開し、都市部の良さ、津別町の良さを感じ知見を広げることができた。また、アスリートによるスポーツ教室を通じて、親子で体験し一緒に学ぶ機会を多く提供することができ、子どもたちの日常活動の裾野を広げるきっかけとなった。		

④青年期事業

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
高校生ボランティアサークルひまわり	通 年	教育委員会	・町内高校生及び津別高校生を対象に自主事業の企画運営、地域参画などから経験と学びを得る事業 ・メンバー5名 ・定例会9回、自主事業4回、社会教育事業4回、他団体協力1回
青年活動プロジェクト and	通 年	教育委員会	・町内の異業種の青年たちが集い、交流を深め、地域参画し、町内の青年たちの居場所とまちづくりに寄与する事業 ・メンバー19名 ・定例会11回、自主事業3回、内部研修交流7回
成果と課題	・高校生は、部活や講習など忙しい中、児童館訪問をはじめ多くの事業を実施することができ、達成感ややりがいにつながっている。引き続き、地域とのつながりから学びを深める活動の支援をする。 ・青年団体は新しいメンバーも加わり、少しずつ活気がでてきた。モチベーションの維持につながるよう、町内や近隣市町の青年団体との交流を活発にし連携するなど活動への参画とやりがいを見つける必要がある。		

⑤ 成年期事業

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
社会教育講座	通 年	教育委員会	・ 町民の生活文化を高める事業 ・ 「坂東元氏講演会」 伝えるのは命、つなぐのは命 28名参加 ・ 「高平慎士講演会」 寿大学生29名、一般7名参加 ・ 「オホーツクの鉄道石北本線の歴史と魅力」 講師：白川龍生氏 寿大学生20名参加 ・ 「トークショー」 講師：折茂武彦氏、鈴木靖氏 幼児1名、小学生14名、中学生9名、一般33名参加 ・ 「北の大地の水族館出前講座」 講師：山内創氏 寿大学生36名参加 ・ 「豆料理教室」 講師：長谷川清美氏 一般14名 ※寿大学やオリンピック事業と連携
大人の体験事業	通 年	教育委員会	・ 子どもたちだけではなく、地域の人が津別の良さを体感し、地域の活性化や指導者の育成を図る事業 ・ 「ツリーイング体験」1名参加 ・ 「かわ塾網走川」7名参加 ・ 「カヌー体験」5名参加 ・ 「もちつき」2名参加 ※放課後子ども教室アソビバ！つべつ、オリンピック事業と連携
高齢者大学 (寿大学) 講座	通 年	教育委員会	・ 高齢者が持っている能力や経験を活かしながら、現代社会に対応する生活課題の学習、研修とクラブ活動を通して、社会参加の拡充を図る事業 ・ 全16講座、学生45名 延べ599名参加

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
社会教育人材バンク「まなび〜ぷる」	通 年	教育委員会	・地域の人々の力で社会教育の促進を図るとともにボランティア活動をとおして地域の教育力の向上に寄与する事業 ・登録団体20団体、個人5名 ・生活体験通学合宿での夜間レク講師 山鳴太鼓保存会、RECつべつ ・高校生ボランティアサークルひまわりチャリティーバザー おはなしポケット、個人 ・アソビバ！お泊り会でのレク講師 津別水泳協会
成果と課題	・高齢者大学は、様々な学習の機会を提供することができた。共に学びあう仲間たちと楽しく参加することができ交友を深め、新しい分野にもチャレンジできる内容の充実を図りたい。 ・生活課題、鑑賞、自然体験など幅広い分野で講座を実施することができた。町民の多様化するニーズに対応し、学びを深めたり活動の活性化につながる講座を展開する。		

⑥スポーツ推進委員研修事業

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
北見・網走ブロックスポーツ推進委員研修会兼網走地方教育研修センター講座「社会体育」	R6.12.7	北見・網走ブロックスポーツ推進委員連絡協議会	・情報提供 実技「カーリング」
オホーツク管内社会体育振興セミナー	R6.11.16	管内スポーツ推進委員連絡協議会	・功労者表彰 ・講演「地域スポーツ活性化のため～言葉のちから無限大～」 ・実技「ストレッチポールを用いた身体のメンテナンス」
成果と課題	・新しい運動や健康について学びが深まり、他市町村委員との情報交換や交流ができた。		

⑦各種大会事業

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
紅葉マラソン大会	R6.10.6	つべつ紅葉マラソン大会実行委員会	・スポーツを通じた友好の絆を深め、健康の増進と体力の向上を図ることを目的とした事業 ・10k、5k、3kのコース。カレーライスの提供、抽選会、表彰を実施 ・270名参加
スケートイベント	中止	教育委員会	・積雪と解氷によるリンク使用不可のため中止
スキーイベント	R7.2.2	教育委員会	・自然環境を生かした冬季スポーツに親しみ、町民相互の交流を図るとともに、健康促進に対する意識の高揚を図る事業 ・講師：川端絵美氏（札幌市） ・フリーレッスン ・デュアルレース ・じゃんけん大会 ・町民25名参加
成果と課題	・津別の四季を感じながら誰もが気軽にスポーツに親しむことができる機会の提供ができた。		

⑧スポーツ教室・講習会事業

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
少年少女水泳教室	R6.7.24～26	教育委員会	・四季に応じた各種スポーツを通して、少年期に適した運動を行い、体を活発に動かすことの必要性和スポーツの生活化を図る事業 ・小学生12名参加（初心者向け） 延べ30名参加
少年少女体力測定会	R6.4.27	教育委員会	・体力増進度チェックとトレーニングの動機付けを図る事業 ・小学生31名参加
少年少女スケート教室	R7.1.22	教育委員会	・四季に応じた各種スポーツを通して、少年期に適した運動を行い、体を活発に動かすことの必要性和スポーツの生活化を図る事業 ・小学生14名参加

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
ジュニアスキー講習会	R7.2.2～3	教育委員会	・アスリートによるスポーツ教室を通して、スポーツの楽しさや魅力を伝え、興味関心や積極的にスポーツに親しむ意欲を高め、体力向上を図る事業 ・スキー基礎技術指導 ・小学生25名参加
オリンピック事業	R6.5.30 R6.5.31 R6.9.7 R7.1.19 R7.1.19	教育委員会	・アスリートによるスポーツ教室を通して、スポーツの楽しさや魅力を伝え、興味関心や積極的にスポーツに親しむ意欲を高め、体力向上を図る。また、親子のコミュニケーションや子育ての課題解決について親子で学び、子どもがスポーツに親しむ機会の促進を図る事業 ・かけっこ教室 講師：高平慎士氏 73名参加 ・寿大学講演会 講師：高平慎士氏 28名参加 ・かけっこ教室 講師：北風沙織氏 17名参加 ・バスケットボール教室 講師：折茂武彦氏 59名参加 ・トークショー 講師：折茂武彦氏 57名参加
水中エアロビクス教室	R6.5.16～ 6.27 計7回	教育委員会	・水とスポーツに親しみながら体力づくりの生活化を図る事業 ・専門指導者によるアクアビクス教室 ・講師：横尾早苗氏（北見市） ・一般成人20名、延べ80名参加
ゴールドスポーツ教室	R6.6.6～ 7.25 R6.10.10～ 11.28 R7.1.9～ 2.27 各8回	保健福祉課 教育委員会 （かるっちゃんつべつ）	・筋力低下による転倒を予防する介護予防事業 ・65歳以上の高齢者を対象にストレッチ、筋力アップのためのトレーニング、レクゲーム等で体力維持を図る ・講師：石川朋美氏（札幌市） ・30名参加、延べ216名参加

事業名		実施時期	主催団体	事業概要
健康づくり教室		R6.5.14～ 6.11 R6.11.20～ 12.18 R7.1.14～ 2.18 各5回	教育委員会	・体力づくり、健康づくりへの意識の高揚と運動の習慣化を図る事業 ・講師：田邊かおり氏、鷺美幸氏、小林ひろ子氏 ・ソフトラピ&ひめトレ、ひめトレ&有酸素エクササイズ、シェイプボックス&ユニバーサルヨガアース ・一般成人36名参加、延べ128名参加
着衣水泳体験会		R6.6.7	教育委員会 水泳協会	・着衣のまま水に入り、泳ぎ方などを学び、水難事故に備える事業 ・52名参加
スポーツ推進事業		R6.8.9	教育委員会	・スポーツ合宿に訪れた選手に指導してもらい、町内の学生や指導者のレベルアップを図るとともに交流を深める事業 ・バスケットボールクリニック 講師：大阪産業大学 小中学生20名参加
グレステンスキー講習会		R6.9.7～8	教育委員会	・グレステンスキーの普及と利用促進を目的に、少年団や指導者のスキー技術の向上を目指す 講師：高橋生季氏 小学生2名、一般成人2名参加
歩くスキーのつどい		実施無し	教育委員会	
成果と課題	・ライフステージに合わせた運動、スポーツに親しむ機会を多く提供することができた。また、定期的開催することにより運動の習慣化や継続につなげることができた。教室は健康維持・増進に留まらず、仲間同士の交流の場ともなっており、心身ともに健康で元気な生活を営む動機付けにつながっている。 ・様々なアスリートからスポーツの面白さやすごさを学ぶことができた。する、みる、だけではなく、知ることもでき、年代に合わせたスポーツに親しむ機会にすることができた。			

6 図書館事業の推進

(1) 図書館事業

① 図書館事業

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
読書チャレンジ (感想文・ポップ・感想画)コンクール	R6.6～R6.12	教育委員会	・読書離れが進んでいる現代社会で、本への関心を深め読書普及の推進を図る事業 ・町内の小中学生を対象に、読書感想文・ポップ・感想画を募集し、その中から優秀作品を表彰する ・小学生 19名応募 中学生 38名応募
移動図書配本事業	通 年	教育委員会	・多くの本に触れる機会を増やし、感性豊かな心を育むことを目的とした事業 ・小中学校、認定こども園、児童館、ケアハウス、ののか、デイサービスに定期的に配本している
絵本ふれあい事業 ブックスタート事業	通 年	教育委員会	・乳幼児健診時に6ヶ月乳児の保護者に対し、絵本等を提供し、絵本を通じて親子の絆を深めることの大切さを伝える事業 ・親子 延べ14名参加
ブックセカンド事業	R7.3.5	教育委員会	・絵本を通して親子で本に親しみ、日常的な読書の推進につなげる事業 ・新1年生となる年長の子供たちに絵本を贈呈する ・年長26名実施
図書館開館1周年記念事業	R6.6.29	教育委員会	・開館1周年記念コンサート(北見室内管弦楽団による地域貢献事業) 50名参加
図書館まつり	R6.12.1	教育委員会	・本に対する様々なふれあいを通して、本に親しむとともに参加者同士の交流を図る ・村中李衣さんおはなし会、村中李衣講演会「津別ほれぼれみんなでつながる読みあいワークショップ」、古本市、読書チャレンジコンクール表彰式、図書館でナゾトキ、クリスマスオーナメントを作ろう! 240名参加
学校巡回司書	通 年	教育委員会	・子どもの読書活動の推進及び学校図書室の活性化を図る事業 ・小学校75回、中学校74回訪問

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
読書推進活動 (特集・展示等)	通 年	教育委員会	・四季や時事などに合わせ図書の展示や、家読（よむ日のススメ）を推進し、読書の日常化を図る事業 ・1 か月～2 か月ごとにテーマ展示計36テーマ実施。 ・こどもの読書週間 111名 参加 ・テーマに沿ったオススメ本を3冊入れた福袋「貸出用本の福袋」 29セット利用 87冊貸出 ・子ども用おみくじガチャ本(ぼん) 100冊 貸出 ・認知症に関する図書の展示、貸出し 40冊 ・「ミステリー作家たちの横顔展 in 北海道」パネル展 52名 参加 ・どさんこ絵本作家あべ弘士さん「『あてっこどうぶつずかんだれ』巡回パネル展 in 北海道 70名参加 ・「ヒグマは見ているの今～クマ担記者と一緒に考えよう～」 講師：内山岳志氏 35名参加 ・津別年表～津別の小学校編 ・アルバムカフェ 8名参加 ・ぬいぐるみおとまりかい 28名参加 ・映画上映会（全6回） 第3木曜日 55名参加 第3土曜日 19名参加 計74名 参加
学校巡回司書	通 年	教育委員会	・子どもの読書活動の推進及び学校図書室の活性化を図る事業 ・小学校75回、中学校74回訪問
成果と課題	・図書館が開館し2年目となり、来館者数は初年度の特需から減少したものの、貸出冊数は、ほぼ横ばいで推移し利用の定着が確認された。 ・来館促進と読書推進を目的に既存事業を拡充し、新規事業として読書週間に大人向けの講演会、児童向け「ぬいぐるみおとまりかい」を実施。これにより、従来来館のなかった方の利用を促すことができた。 ・ボランティアスタッフの新規獲得が難しく、イベント運営や読み聞かせ活動の継続に影響が懸念される。募集方法のあり方や活動内容の魅力向上が必要。		

7 芸術文化の推進

(1) 芸術文化事業

① 芸術文化事業

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
第27回日本フィルセミナー 第37回日本フィルこども芸術の広場	R6.8.30～9.2	津別町民芸術劇場 教育委員会	・道内外のアマチュア奏者の基礎学習の場と地元中学生の技術指導、町民に生のクラシック音楽の鑑賞機会を提供することにより、地域の振興を図る事業 ・セミナー受講生49名、中学生8名、クリニック25名 ・コンサート入場者52名
子ども芸術劇場	R6.9.18	教育委員会	・児童館の小中学生に対して優れた芸術鑑賞の機会を提供し、豊かな情操の涵養を図る事業 ・「パーカッション・パフォーマン ス・プレーヤーズ」(株) サウンドベース ・児童館児童46名、一般親子3組
青少年移動芸術劇場 (中学校)	R6.9.9	教育委員会	・優れた舞台芸術を鑑賞する機会の提供と、青少年の豊かな情操の涵養を図る事業 ・「雨ふり小僧」(株) 劇団民話芸術座 ・中学生76名、教諭21名
青少年芸術劇場 (小学校)	R6.9.10	教育委員会	・優れた舞台芸術を鑑賞する機会の提供と、青少年の芸術鑑賞能力の向上と豊かな情操の涵養を図る事業 ・「和心ブラザーズ和楽器民謡コンサート」(有) エゾンミュージック ・小学生145名、教諭29名
第16回つべつり コーダーセミナー	R6.10.26～ 27	津別町民芸術劇場 教育委員会	・全国のリコーダー愛好家が参加し、講師から基礎から合奏法のレッスンを受け、音楽的な向上を目指すとともに音楽を愛する町民との絆を深める事業 ・セミナー受講生43名、学校6校20名 ・コンサート入場者45名
芸術鑑賞事業実行委員会	実施無し	芸術鑑賞事業 実行委員会	・隔年実施
成果と課題	・様々な対象、ジャンルの鑑賞事業が開催され、芸術に触れる機会を多く提供することができ、生の演奏等を肌で感じ、心を動かす体験の場となった。 ・日フィルやリコーダーセミナーは長年続けている事業だが、コンサートの入場者は年々少なくなっている。事業の継続も含め内容を再検討する時期に来ている。		

8 児童館の推進

(1) 児童館運営

① 児童館一般利用状況

利用区分 利用状況	児童クラブ	一般児童利用	乳幼児・保護者 地域住民等
年間利用総児童数	8, 293人	2, 578人	81人
1日平均利用人数	28.2人	8.7人	0.3人
事業概要	・「あたたかく、安全で安心できる居場所」として、小中学生の健全で楽しい遊び場を提供し、子どもたちの心と身体の健やかな育成を図る		
成果と課題	・児童館の一般利用が再開し、より多くの児童が気軽に利用できるようになった。遊びの充実や安心安全な子どもの居場所、生活の場となるよう保護者と連携して運営していく必要がある。 ・行事やイベントが復活し、子どもたちの活動の充実を図ることができた。 ・利用者が増えたことにより、指導員不足が課題となっている。		

9 放課後児童健全育成事業

(1) 放課後児童クラブの状況

① 放課後児童クラブ登録状況及び利用状況（対象児童：小学生）

	学区 児童数	登録 児童数	加入割合	1日平均 利用人数	年間利用 総児童数
学区児童数	153人	69人	45%	28.2人	8,293人
事業概要	・保護者が仕事のため昼間、家にいない児童に対して放課後の適切な遊び及び生活の場を提供して、児童の健全育成を図る。 ・次世代を担う児童が、心豊かで健やかに育まれるよう、体験・学び・異世代交流・遊び・生活の場を提供する。				
成果と課題	・子どもたちの安心して安全な生活の場としてのクラブ運営ができた。様々な分野の遊びもできるようになり、充実した活動と環境を整えることができた。また、保護者の理解を図ることができた。 ・保護者の就労による放課後児童クラブ登録者が年々増加しており、施設環境の整備と指導員の確保がいまだ課題となっている。				

② 放課後子ども教室登録状況

コース名 登録 児童数	自然文化	チャレンジ キッズ	緑の少年団	農業体験・ だいち	アソビバ・ つべつ
津別小・中	「アソビバ・つべつ」に統合				58人

事業概要	・放課後や週末を利用し、子どもたちの居場所づくりの一環で様々な体験活動を提供する事業。津別町をより知ってもらうため、あらゆるフィールドを活用して年間約20回程度実施している。 ・子どもだけではなく親子で参加できる事業を地域で活動している団体ボランティアに指導をいただき、地域の方から学び・交流を深める事業を展開し、参加者も指導者も地域全体で楽しみ、郷土愛を高める。
成果と課題	・年齢に合わせた様々なプログラムが展開できた。 ・地域の人や資源を通して津別のすばらしさ、学び、経験値、価値を広げる機会となった。また、親子の体験は、親子のコミュニケーションの構築や共通体験と共感につなげることができた。 ・児童クラブとも連携を図り、子どもの居場所や活動の場を広げたい。 ・事業内容のマンネリを解消し、新たな事業内容を調査研究する。

10 社会教育施設管理の推進

(1) 社会教育施設管理事業

① 社会教育施設営繕関係

(単位：千円)

工 事 名	事業費	工 事 概 要
中央公民館 ペレットボイラーロストル修繕	1, 0 0 8	経年劣化に伴う取替修繕

② 社会教育施設管理委託関係

(単位：千円)

委 託 事 業	委託料額	委託先	委 託 概 要
中央公民館管理	1 2, 8 0 0	(株) 津別町 振興公社	・施設管理、清掃、特別清掃
町民会館管理	8, 1 1 6	(株) 津別町 振興公社	・施設管理、清掃、特別清掃
児童館管理	1, 0 9 9	(株) 津別町 振興公社	・清掃、特別清掃
食品加工センター管理	6 8 7	(株) 津別町 振興公社	・施設管理、清掃

③ 社会教育施設管理備品関係

(単位：千円)

備 品	購入額	概 要
カラオケ機器	8 5 2	サポート終了に伴う更新購入
中央公民館 会議室・和室カーテン	4 3 6	経年劣化による更新購入

(2) 体育施設管理事業

① 体育施設営繕関係

(単位：千円)

工 事 名	事業費	工 事 概 要
多目的運動公園 芝刈機油圧変速機交換修繕	6 1 6	経年劣化に伴う取替修繕
多目的運動公園さくら公園 木製歩道橋改修工事	1 3 , 2 0 0	経年劣化に伴う長寿命化工事
農業者トレーニングセンター アリーナ照明 LED 化工事	1 1 , 2 2 0	経年劣化に伴う長寿命化工事
農業者トレーニングセンター アリーナ床改修工事	8 8 , 1 1 0	経年劣化に伴う長寿命化工事
農業者トレーニングセンター パネルヒーター交換修繕	7 , 5 9 0	経年劣化に伴う取替修繕
農業者トレーニングセンター アリーナ床土間スクラブクラック補修工事	3 , 7 4 0	経年劣化に伴う長寿命化工事
運動広場 三相変圧器交換修繕	4 , 0 3 7	経年劣化に伴う取替修繕
グレステンスキー場 ワイヤーロープ更新修繕	8 7 8	経年劣化に伴う取替修繕

② 体育施設管理委託関係

(単位：千円)

委 託 事 業	委託料額	委託先	委 託 概 要
多目的 運動公園管理	3 9 , 8 0 9	(株) 津別町 振興公社	・ 芝生管理、除草、清掃、受付業務等
温水プール 施設管理	6 , 0 2 0	(株) 津別町 振興公社	・ プールの清掃、施設管理、プール監視等
スケートリンク 造成・管理	1 , 9 4 2	津別総合管理センター	・ 造成業務、管理業務
ファミリー スキー場管理	2 , 2 0 0	(株) 津別町 振興公社	・ ファミリースキー場の管理、リフトの運行、管理着雪ネットの設置、撤去及びロッジ周辺、リフトコースの除雪

委 託 事 業	委託料額	委託先	委 託 概 要
体育施設等管理	7, 3 4 8	(株)津別町 振興公社	・本岐地区多目的公園、達美野球場、 修武館、農業者トレーニングセン ター芝生管理、除草、清掃、整地 等
トレーニング センター管理	8, 1 7 0	(株)津別町 振興公社	・施設の管理業務（利用受付、電話、 その他施設管理に関する業務）
グレステン スキー場管理	4 2 9	(株)津別町 振興公社	・施設の利用、設備の維持管理等

③ 体育施設管理備品関係

(単位：千円)

備 品	購入額	概 要
多目的運動公園 サッカーゴール・移動キ ャスター	1, 0 6 4	経年劣化による更新購入
温水プール「すいむ」 同時印刷式券売機	8 6 4	新紙幣対応に伴う更新購入

11 スポーツ合宿実績

令和6年度 スポーツ合宿受入実績

2024/10/3現在

チーム名	IN	OUT	選手	スタッフ	マネ	計	泊	日	泊延人	延人員	競技種目	宿泊先
北海道トランポリン協会	4月13日	4月14日	14	3	0	17	1	2	17	34	トランポリン	北見市
訓子府KL野球少年団	5月4日	5月5日	17	5	0	22	1	2	22	44	野球	でてこい
札幌厚別高校サッカー部 ★	8月4日	8月8日	17	1	4	22	4	5	88	110	サッカー	交流館
旭川明成高校女子野球部 ★	8月6日	8月8日	32	4	1	37	2	3	74	111	野球(女子)	でてこい
帯広工業高校ラグビー部	8月8日	8月10日	11	3	1	15	2	3	30	45	ラグビー	でてこい
北見工業高校ラグビー部	8月8日	8月9日	17	3	1	21	1	2	21	42	ラグビー	nanmo-nanmo
大阪産業大学バスケットボール部	8月8日	8月12日	22	3	2	27	4	5	108	135	バスケット	みいと
BTOP北海道 ★	8月10日	8月12日	22	2	0	24	2	3	48	72	サッカー	でてこい
名城大学ラグビー部	8月13日	8月23日	64	4	0	68	10	11	680	748	ラグビー	みいと
帯広畜産大学スキー部	8月30日	9月1日	23	0	0	23	2	3	46	69	グレステン	でてこい
オホーツク選抜ブラザーズ	9月7日	9月8日	20	4	4	28	1	2	28	56	野球	交流館
日本ろう者スキー協会 ★	9月13日	9月16日	9	4	0	13	3	4	39	52	グレステン	でてこい
学生スキー連盟①	9月18日	9月20日	2	12	0	14	2	3	28	42	グレステン	交流館
学生スキー連盟②	9月21日	9月22日	2	8	0	10	1	2	10	20	グレステン	交流館
チームK's	9月28日	9月29日	10	2	0	12	1	2	12	24	グレステン	でてこい
フェニックスメモロ	10月6日	10月6日	8	2	0	10	0	1	0	10	グレステン	日帰り
チーム14	10月11日	10月14日	11	1	0	12	3	4	36	48	グレステン	でてこい
チームK's	10月19日	10月20日	11	2	0	13	1	2	13	26	グレステン	でてこい
						0						
						0						
計		18	チーム			388			1,300	1,688		

★…新規チーム

【R5年度】19チーム

400人

1,307人

1,707人

成 果 と 課 題

- ・ 徐々に道外からの合宿受け入れも戻りはじめ、受け入れ実績には新規チームの増加がみられた。
- ・ 今後においても道内・道外、種目別による合宿誘致活動に力を入れていきたい。

学 識 経 験 者 意 見

教育相談員 安 田 貢

令和6年度教育行政方針及び点検評価報告書に基づき説明を受け、考え方や各事業等について感じたことを述べさせていただきます。

教育委員会議については、従前通り開催し、関係例規・規則等の改正、児童生徒の学力向上を図るための環境構築について議論され、津別町の教育方針に則り、その具現化に向けて取り組まれています。

学校教育では、日々の学校教育活動や学校行事等が本来に戻りつつあり、児童生徒が校内外で楽しそうに活動する様子が見られます。

津別町では、支援が必要な困り感のある児童生徒への指導を行うため、学習補助員を小学校に7名、中学校に3名配置し、さらに中学校には町採用の臨時教職員1名を配置するなど、児童生徒の学習環境の向上が図られています。

教材・備品購入については、小中学校の要望を踏まえて、各教科の教材の購入について、町当局の理解のもと児童生徒の教育環境が整備されています。

木育事業は、津別町の特色を生かした独自事業であり、小中学校の授業計画に位置付けられており、「愛林のまち」を宣言している木のまち津別町に生まれ育った子ども達が、木の文化に対する理解を深め、自然やふるさとを大切にする心を養う体験活動を実施しており、今後も継続して実施していただきたいと思います。

津別高等学校振興対策事業については、町内外の生徒確保を念頭に、生徒の将来の夢や希望を実現するための魅力ある学校として津別高校の特色ある教育活動が定着しつつあります。また、個別指導で一人ひとりの進路をサポートする公設民営塾では基礎基本の復習から就職試験、国公立大学等の大学受験対策までの教育支援を行っており、令和6年度国公立大学への合格者を2名輩出できたことは大きな成果と言えます。

学校給食の推進では、児童生徒へのアンケートの実施や学校給食センター運営協議会との協議を踏まえるとともに、町内生産者と連携したオール津別食材による給食を継続し、地場産品への理解と生産者への感謝の気持ちを育む食育の充実に期待しています。

また、新学校給食センターの建設工事も着実に進められ、今後も給食センターの運営方式を含め、児童生徒への安全・安心な学校給食の提供を期待しております。

社会教育の推進では、幼少期から高齢期までの各年代を対象に、生涯にわたって学び続けることができるよう、社会教育活動、スポーツ活動、文化活動に参加できる場を提供し、各種講座の開設やその充実に努められています。

社会教育・体育・スポーツ事業は、就学前幼児から高齢者まで様々な取り組みが行われており、スポーツ・文化に親しむ事業や福祉など関係機関との連携した事業等、今後も幅広い年代の方々が参加できる事業を期待しています。

図書事業の推進については、新図書館が開館以来、既存事業の拡大や新規事業を展開するなど来館促進と読書推進に努めています。移動図書は、小中学校をはじめ、認定こども園、児童館、ケアハウス、ののか、デイサービスなど各施設で行われ、本に触れる良い機会になっています。今後とも継続と拡大を期待します。図書館司書職員が定期的に小中学校を巡回することにより、学校図書室の環境整備や学校と連携して家読（よむ日のススメ）を家庭・地域に奨励してきました。読書推進活動の一層の推進で読書の日常化が図られていました。

芸術文化の推進については、クラシック音楽の技術指導、鑑賞機会や、小中学校との連携した舞台芸術を鑑賞する機会などの提供により、青少年の芸術鑑賞能力の向上と豊かな情操の涵養が図られていると感じています。今後も町民に魅力的で質の高い素晴らしい芸術・文化に生で触れる機会を創出してほしいと思います。

児童館の推進及び放課後児童健全育成事業について、より多くの児童が利用できるように活動の充実と環境整備が行われています。

児童館は、子ども達が放課後や土曜日、長期休業中に安全で安心かつ有意義に過ごせる遊び場としてだけではなく、ほっと一息つける憩いの場でもありますので、利用者が増加傾向にありますが、安全面を十分に考慮するとともに、小学校との連携を密にした取り組みも検討していただきたいと思います。